

サステナビリティに関する方針と推進体制

Section 1

イントロダクション

Section 2

重点取り組み(マテリアリティ)

Section 3

具体的な取り組み

Section 4

「ひとの力の最大化」に向けて

Section 5

ステークホルダーエンゲージメント

巻末資料

三越伊勢丹グループでは、全ての企業活動の原点にある「企業理念」のもとでサステナビリティ経営に取り組んでいます。

「行動規範」は、企業理念を実践するための倫理的基準として定め、グループの全役職員の基本姿勢を示したものです。「サステナビリティ基本方針」と各種方針に基づき、具体的な取り組みを推進しています。

また、持続可能なサプライチェーンの構築のために「お取組先行動規範」を策定し、三越伊勢丹グループとお取組先および調達先が共に社会的責任を果たしていけるよう、順守事項を定めています。



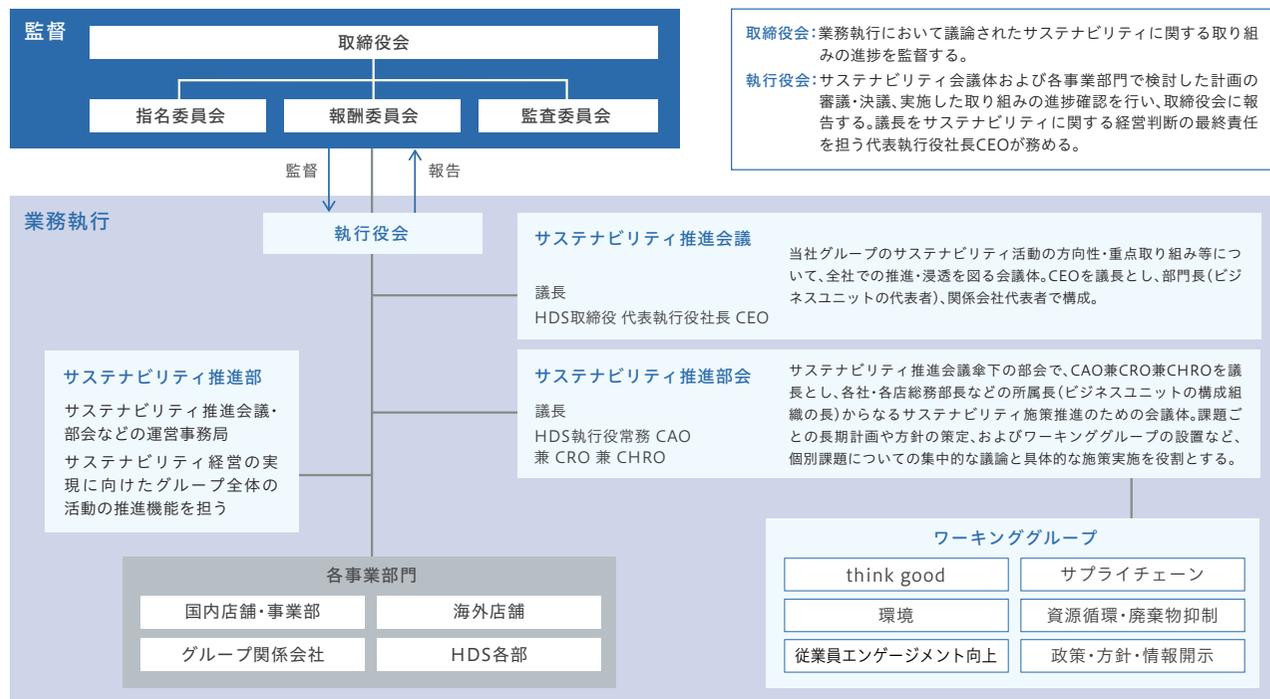
推進体制

ESG(環境/社会/ガバナンス)、SDGs(持続可能な開発目標)の視点を踏まえ、サステナビリティに関する重要事項について、執行役員にて審議・決議を行い、取締役会に報告を行っています。2018年度からCEOを議長とする「サステナビリティ推進会議」で取り組みの進捗確認や全社への浸透活動を行い、またCAO兼CRO兼CHRO※を議長とする「サステナビリティ推進部会」を設置し、課題ごとの具体的な取り組みの検討を行っています。

サステナビリティ経営をよりスピードを上げて進めるためにホールディングスにサステナビリティ推進部を設置し、グループ全体のサステナビリティ推進を行っています。

※ CAO:チーフ・アドミニストレイティブ・オフィサー
CRO:チーフ・リスク・オフィサー
CHRO:チーフ・ヒューマン・リソース・オフィサー

2024年度推進体制



※「HDS」はホールディングスを表しています

三越伊勢丹グループは、百貨店業を中心にクレジット・金融・友の会業、不動産業、その他の事業セグメントで構成されています。

事業に関する数字

当社グループは「お客さまの暮らしを豊かにする、“特別な”百貨店を中核とした小売グループ」を目指しています。

総額売上高

1兆2,246 億円

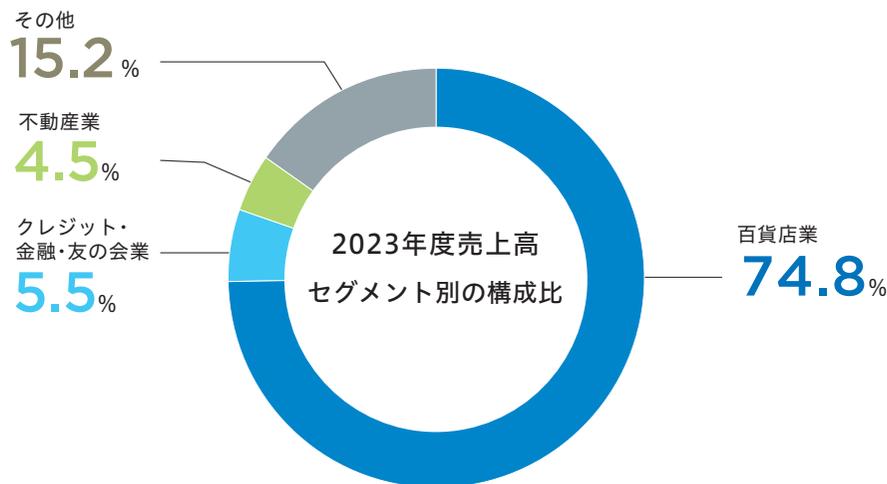
売上高

5,364 億円

営業利益

543 億円

(2024年3月期)



百貨店店舗数

国内 20 店舗	海外 23 店舗
三越日本橋本店 三越銀座店 札幌三越 仙台三越 名古屋三越栄店 名古屋三越星ヶ丘店 広島三越 高松三越 松山三越 福岡三越	伊勢丹新宿本店 伊勢丹立川店 伊勢丹浦和店 静岡伊勢丹 新潟伊勢丹 ジェイアール京都伊勢丹 岩田屋本店 岩田屋久留米店 丸井今井札幌本店 函館丸井今井
(2024年4月1日現在)	(2024年7月1日現在)

ステークホルダーに 関係する数字

当社グループの事業は、あらゆるステークホルダーに支えられています。

お客さま

識別顧客数(カード・アプリ会員など)

約 **700** 万人

株主さま

株主数

約 **30** 万人

お取組先

国内の百貨店お取組先数

約 **2** 万社

従業員(連結)

グループ従業員数

約 **1.7** 万人

(2024年3月期)